

---

# 2023 年度活動報告書

准教授 ホアン・カストロ

## 学内での活動

### 授業

- ・メディア表現基礎 3 ではアートと科学、そして社会の関係をテーマに実施した。特に、現在アーティストが生物学や合成生物学、宇宙科学といった分野の新しい科学技術を使って、どのように制作をしているか、講義と学生相互のディスカッションを行った。
- ・芸術特論 C では、バイオテクノロジーとアート、生命らしい技術の深い理解を促す授業をした。
- ・特別研究では、主指導教員として M2 学生の卒業論文と制作活動の指導を行った。M1、M2 学生の研究や制作活動について面談と指導を行った。

### 個人研究

- ・「プロトエイリアン・プロジェクト」  
久保田晃弘（多摩美術大学教授）、豊田太郎（東京大学准教授）と共に宇宙生物学とメディアアートに関する共同研究「プロトエイリアン・プロジェクト」（2019～）継続して行っている。
- ・「Extreme Biologies」  
萌芽プロジェクト「Extreme Biologies」では、宇宙生物学とメディアアートに関する研究を行った。

### 委員会

- ・ 交換留学制度と海外交流 WG を担当し、企画・運営をしていた。広報委員会、入試実施委員会、ハラスメント相談員のメンバーをつとめた。

## 学外での活動

### 展覧会

- ・ 作品展示 「(Co)Owning More-than-Truth - Ars Electronica」

2023年9月6日～10日、Ars Electronica Festival（オーストリア・リンツ）にて、プロトエイリアン・プロジェクトの研究成果、作品「FORMATA（2020-2022）」を「(Co)Owning More-than-Truth」の展覧会で公開。

### 教育活動

- ・ 2023年11月～12日、多摩美術大学大学院博士課程学位審査の外部審査員として、学生の事前指導を行った。

### 学会

- ・ The Society for Literature, Science and the Arts (SLSA)

2023年10月27日にアメリカ・アリゾナ州立大学で開催された The Society for Literature, Science and the Arts (SLSA) の学会で宇宙生物学とメディアアートに関する発表「Alien Media and Extraterrestrial Otherness」を行った。

### メディア掲載

- ・ 2023年10月03日に Wired Japan（オンライン）のケミカルな AI に関する記事「ケミカルな AI が実現する、分子サイバネティクスの未来」に論文 “Budding and Division of Giant Vesicles Linked to Phospholipid Production.” Sci Rep 9, 165（2019）と人工細胞が分裂する様子を捉えた映像が掲載された。